

三年越しの荒川三山・赤石岳

山行日：2019年8月2日～5日

コースタイム：【3日】榎島 6:00－清水平 9:30－見晴台 10:35－千枚小屋 13:50

【4日】千枚小屋 5:00－千枚岳 6:05－悪沢岳 8:00－中岳 9:30－荒川小屋 12:25/12:55－
赤石岳 14:50-赤石岳避難小屋 15:10

【5日】赤石岳避難小屋 5:00－赤石小屋 8:00－樺段 10:20－榎島 11:50

費用： 宿泊費 小屋3泊 24,200円、交通費 約9,600円

<ビックリ・ラッキー(^_^)そしてがっかり(-_-;)榎島>

8月2日 晴れ

3年越しの南アルプス縦走はお天気に恵まれそう！今年こそは大丈夫！と心ウキウキで松戸を出発。畑薙駐車場までも山道を相当走り、そこからバスに乗り換え凸凹道を1時間。榎島にやっと着いた。

そんな奥深い榎島は芝生が一面にあり、素晴らしく綺麗な所なので堪能してきてね！と聞いていたのですが、その芝生は撤去されリニア新幹線の工事開始に向けて工事施設が建てられ、工事車両の基地として安全鋼板で囲われていた。

がっかり・・・気を取り直して、前夜祭が始まったわけですが、夕食をとっていると、頭に特徴があるスポーツマン、どこか田中陽希さんに似た方がいる、けど違うよね～？いやいやご本人！Mリーダーが声をかけてくださり写真撮影までして頂きました。ラッキー！！ 私達と並ぶと、体の大きさ、たくましがわかります。明日は笹が岳に登るとのこと、颯爽と駆け抜けるのでしょね。TV放映が楽しみです。



8月3日 晴れ

榎島から歩き始め、崩壊した急登山道を見ながら進むと、新しい吊り橋がでています。おもちゃみたいなものだよ、と言われたものの、やはりゆ～らゆ～ら、最初から冷や汗ものでした。

シラビソの森を気持ちよく森林浴しながら高度を上げて行くのですが、なかなか進まず、一生懸命歩いても、ふと横には林道が見えたりして、がっかりものです。

小屋の少し手前まで来ると、森の中にひっそりとたたずむ駒鳥池がありました。色鮮やかな若緑色の苔を携えた小さな池で雰囲気がとてもあります。そこでおじさま方が急に元気になり、若い女性と一緒に撮影会をしたりして。よかったですね！



そして高山植物も見られるようになり、一登りしたところに、千枚小屋がありました。新しくて綺麗です。ビールで乾杯！したいところで

すが、Mリーダーが到着するまでお預け。そうこうするうちに肌寒くなり暖かい物がほしくなり、お預けを解消しお湯割りで密かに乾杯。その後Mリーダーも到着し、今度は心おきなく乾杯！！ 満天の星空を見上げ、おやすみなさい。

8月4日 晴れ

朝日とともに雲海から浮かび上がるような富士山を眺め、長〜い一日の始まりです。登るほどに花の種類が増え、高度も上がって今日の縦走路が見えてきました。荒川三山、荒川小屋、赤石岳。あそこまで歩くのですね。

千枚岳から3000m峰の丸山を経て一登り、大きな岩がゴロゴロし始め、いよいよ悪沢岳に到着。途中この辺の岩場にしか咲かないミヤマムラサキを発見して写真に納め悦に入りました。縦走路は展望も素晴らしく、谷からの風も涼を与えてくれ、アップダウンを繰り返しながら快適に歩を進めていきました。



荒川前岳からの山肌は一面のお花畑。鹿対策の柵で囲われている所もあり、山の景観・植生を守っていかなくてはならないのだと理解しました。

荒川小屋まで下ると、疲れが出てきたうえに、夜に必要な水を確保するため、荷が増えての歩みになります。ここで1泊できたらな〜と皆の心の声が聞こえてきます。

大聖寺平までは赤石岳の雄大な景色を眺めながらのトラバースの道。

さて、ここからの登りが問題です。体力もきつくなり、標高の影響もあり、息はきれいなし、足はでないし、本当に苦しい登りとなりましたが何とか赤石岳登頂！ヤッター！素晴らしい！皆で登るから達成できるのですね。感謝です。早速記念撮影。あれれS氏のお姿。。。



陽希さんと会えて感激したのか、山頂には欠席でした。寂しかったですよ。

山頂からすぐ下の避難小屋に入りまた打ち上げ開始。お疲れ様。

<晴天だとヘリコプターが飛ぶ=荷揚げをしてもらえる=とても嬉しい>
の図式にともない

<到着まもなくヘリが飛んできて=有名小屋番はとてご機嫌でビールを大盤振る舞い=喜びのお裾分けを頂き、ヤッター！>となりました。

夜は小屋番ご夫妻のお話タイム。ご主人の写真の説明、奥様のハーモニカ演奏と陽希さんが寄った話をしてくださいました。

8月5日 晴れ

日の出前から山頂で360度の展望を眺めながらの撮影会。朝日が出ると影の赤石岳の姿も見られて幻想的でした。ここは風がものすごく、飛ばされそうな状況でしたが、皆さんいい写真が撮れたことと思います。

今日はこれから一気に大倉尾根を2,000m下ります。

富士見平までは稜線の景色を楽しみ、ここからはまた樹林帯を歩くことに。赤石小屋で一息入れ、長〜い長〜い、でも下り易い道を黙々と下り、榎島に戻ってきました。あ〜疲れた(>_<) 頑張った(^_^)

榎島の主となりつつあるS氏とも合流でき、山の報告をしながら帰路につきました。畑雑駐車場でこれから登る為バス待ちをしている登山客を見て、「これからあの辛さを味わうのですね、お気の毒」と思うのは私だけでしょうか？

今回、念願の南アルプス縦走は、最高のお天気の中、L,SL 始め皆さんの力で完歩できたのだと思います。

長距離の運転、共同装備の荷揚げ等もありがとうございました。

山男に感謝です！ 山男にゃほ〜れ〜るなよ〜♪♪